

たんご
丹後土地改良区（京都府）

京都府内最大の畑作地である丹後国営開発農地のスケールメリットを活かし
野菜の大規模生産団地の営農を支え、自然豊かな丹後の食と営みを守る



(左) 東田理事 (右) 行待理事長

組織の概要

面積：639ha
 組合員：1,848人
 理事：14人（うち女性員外1人）
 監事：4人（うち女性0人）
 職員：2人（うち女性1人）
 通常の理事：組合員である理事は、6被選任区から
 登用方法 10名を選任

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和5年3月 1日 定款変更(定数増、員外規定)
 令和6年2月29日 総代会にて選任
 4月 1日 理事就任
 (任期：令和7年8月16日)

ひがしだまき
東田真希 理事

経歴

淡路島生まれ
 短大、証券会社、保険会社などを経て
 2010年京丹後に移住
 2016年より市議会議員

理事になって思うこと

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

市議会議員として地域の皆さんから土地改良施設の老朽化や維持管理の大変さもお伺いし問題意識もあり、市議会でも質問してきました。

また、農村には女性も生活しており、地域の運営には女性の視点がまだまだ足りないと感じています。今回私に期待していただいている役割を発揮できるよう頑張ります。

女性理事登用を進めるための秘訣(女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

土地改良区が何の団体か知られておらず、土地改良施設やその管理の活動について、地域内外の多くの人に知っていただくなどの発信が大切だと考えます。写真や絵画のコンクールなどはその役割発揮がもっと期待できるのではと思っています。

東田さんが理事を引き受けるまで



事務局

※どのように説得したか。

土地改良区の他の理事さんを通じて、男女共同参画をはじめ地域の農業情勢や改良区のことをご説明し、女性の目線をふまえ農業従事者の声を反映できるよう力添えしてほしいとお願いしました。



東田理事

※引き受けた決め手。

農村地域に住んでいることもあり、今回、お話をいただきましたことも何かのご縁、「私にできることもあるはず」との思いでお引き受けしました。

ゆきまちみのる
行待実 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

男女共同参画社会基本法制定から25年経ちましたが、研修会等で土地改良区での女性登用率の低さを痛感し女性理事登用を決めました。

女性ならではの多様性と感性で、幅広い視点を持った活動に期待しております。特に女性農業者との交流を深め、情報収集と発信に努めてほしいと願っております。

事務局長より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

今回、員外の女性理事を1名登用したばかりなので、改良区での変化等はまだ確認できませんが、総代や理事においては女性の参画、特に外部からの登用の必要性への理解が深まったと思っております。

女性理事の登用にあたっては、員内からの選考は難しいかもしれませんが、員外の方で少しでも農業に関心がある方を今後も選考いただければと期待しております。